

11. 公共しせつ

1. 暮らしをゆたかにする公共しせつ

自分たちの町を住みやすくするために、名張市にはたくさんのしせつがあります。道路・公園・上下水道・学校・図書館・市民センターなど、みんながよく利用するしせつを公共しせつといいます。

それぞれのしせつではどんな仕事をしているのか、調べてみましょう。また、機会があればぜひ出かけてみましょう。

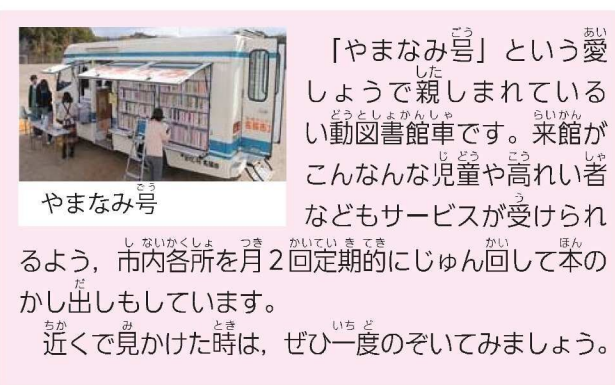
(1) 市立図書館

館内には本がおよそ31万さつあり、たくさんの絵本や子ども向け図書がじゅう実していて、子ども用の本は6万6千さつあります。

名張市はすい理小説作家・江戸川

乱歩の出身地であり、館内には特せつコーナーがもうけられています。また、一ぱん書・児童書のほか、郷土資料室のコーナーもあります。

本は一人10さつまで、2週間借りられます。また、読みたい本がどこにあるのかをすぐに調べられて、とても便利です。各イベントもあるので「図書館だより」などをチェックしてみましょう。



(2) アドバンスコープADSホール

(青少年センター)

アドバンスコープADSホール（青少年センター）は松崎町にある社会教育しせつです。

音楽・芸じゅつ・えんげきなど、市民の芸じゅつ文化のきょ点として、ゆたかなコミュニケーションの場をつくり出し、よりはば広く多くの事業に取り組んでいます。



ADSホール

ロビーは開放的で明るく、またホールは広々とした空間に714席がそなえられていて、コンサートをはじめえんげきやダンス・ぶようなどいろいろなイベントがステージでもよおされています。その他に、楽屋やリハーサル室・音楽練習室・研しゅう室や和室などもあります。

年間の利用人数は約3万7千人、もよおし物の年間利用日数は約150日と、利用者はひじょうに多いです。

(3) 武道交流館いきいき

武道館にはじゅう道・けん道・空手道などに利用できる道場と、2階には5人立ちの弓道場があります。



武道交流館いきいき

交流館には、ぶ台そう置やグランドピアノをそなえた240人が利用できる多目的ホール、和室、たっ球など多目的に利用できる市民交流室、上げ下げできる調理台のある料理教室、とうげいや絵を描くのさいに最てきなせつびが整った工芸室、会議室があります。またランニングマシンなど運動ができる機器をそなえた健康トレーニング室もあります。

しせつ全体で一日平きん約300人という、さまざまな世代が利用するスポーツ・文化しせつです。

(4) 比奈知文化センター、一ノ井市民センター

世の中のいろいろな差別をなくすために活動している公共しせつです。センターでは、名張市内の子どもたちが差別やいじめを見ぬき、なくす学習をしています。また、地いきの方がおとずれて手紙やしき字教室などの勉強会が行われたり、学校の先生などの研しゅうの場として使用されたりしています。



比奈知文化センター



一ノ井教育集会所・児童館

2. 暮らしを守る公共しせつ

わたしたちの身の回りには、わたしたちが安心して、安全な暮らしをしていく上で欠かせないしせつがたくさんあります。わたしたちの暮らしとどのようにかかっているのか、調べてみましょう。



なばりしょうぼうしょ
名張消防署



なばりしりつびょういん
名張市立病院



なばりけいさつしょ
名張警察署

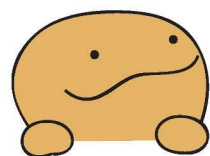
何をするためのしせつかな？



最近、日本の各地で地しんが起きたというニュースがよく聞かれます。東海地方でも、近いしよ来大きな地しんが起きるのではとされています。

もし地しんなど大きなさい害が起きたときやきん急事たいのとき、これらのしせつがなかったらどんなことがこまるかを考えてみましょう。

これらのしせつが昼夜を問わず24時間休みなく対おうしていることも、わたしたちの暮らしを守ることに繋がっています。



みず でんき
水や電気、ガスが
つかえなかったらどう
だろう。



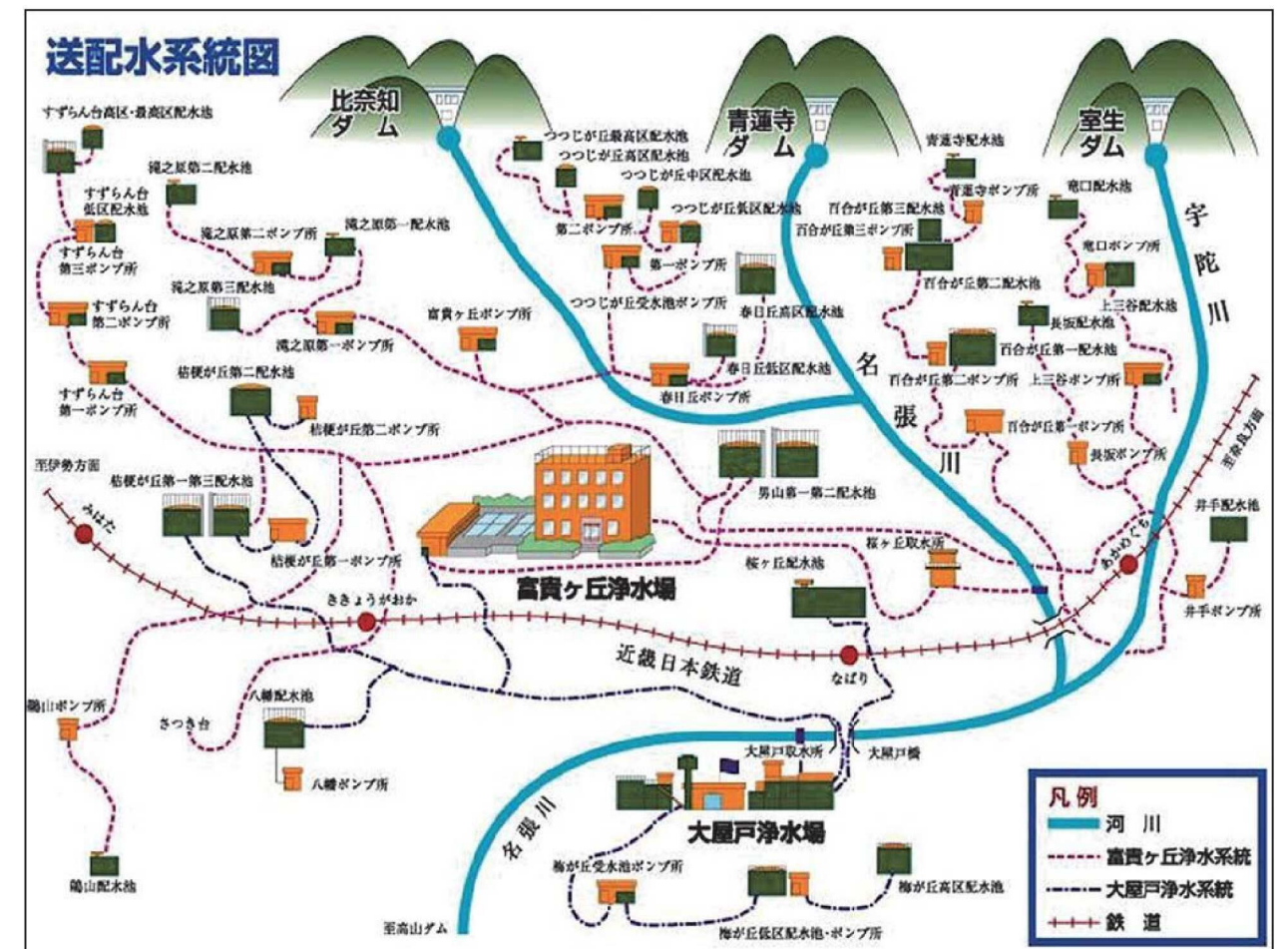
ふきがおか すいじょう
富貴ヶ丘じょう水場



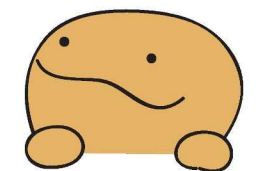
きゅうすいしや
給水車

かつて地しんのえいきょうで水道が自由に使えるなくなったところに、名張市からも給水車が救えんにかけたということがあります。

名張市では大屋戸じょう水場と富貴ヶ丘じょう水場で、きれいな水をつくっています。ぜひ見学に行き、水道の水ができるまでの仕組みを学びましょう。わたしたちが毎日当たり前使える水は、もともとは名張川の水からできていることも発見できるでしょう。



P73の地図を見ながら、他の公共しせつもさがしてみよう。



[→P12,13,14,15,50,73]

